**2017年度　家族関係学部会　総会**

**（議事録　概要版）**

日　時：2017年10月21日(土) 16時15分～17時00分

場　所：ホテルビナリオ嵯峨嵐山　会議室「嵐山」

**2017年度　家族関係学部会総会次第**

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事

＜報告事項＞

1. 平成28年度事業報告および平成28年度収支決算報告の役員会協議の結果（佐藤）

2. 会費納入状況（井上）

3．入退会者について（山下）

4．部会誌『家族関係学』のJ-STAGE登載の決定について（山根）

5. 部会誌の編集について（山根）

6. 部会誌の配布・販売・在庫の状況、HP、メルマガについて（佐藤）

7. 業務委託の状況について（佐藤）

8. 2016年度家族関係学セミナーについて（渡邊）

9. 2017年度家族関係学セミナーについて（杉井）

10. 2017年度日韓学術交流について（上野）

11. 「家庭生活アドバイザー」資格化に向けた動きについて（細江）

12．第3回家政学夏季セミナーの開催について（佐藤）

13.『家族を読み解く12章』（仮称）出版について（佐藤）

14. その他

＜協議事項＞

1. 入退会者の承認（山下）

　2．ニューズレターの紙媒体での発行・郵送から電子メールによる一斉配信・HP公開への変更

（佐藤）

　3．家族関係学セミナーの参加者資格および自由報告における共同発表者の会員資格について

（佐藤）

4. 2018年度第38回家族関係学セミナーについて（大石）

5．平成30年度事業計画案について（佐藤）

　 6．平成30年度収支予算案について（井上）

　　 7. その他

**冒頭、議長を永田晴子氏に依頼することが全会一致で承認された。**

**出席者数 ４２名**

**【報告事項】**

1. 平成28年度事業報告および平成28年度収支決算報告の役員会協議の結果（佐藤）

本年度より臨時総会の省略措置に伴い、役員会において平成28年度事業報告、平成28年度収支決算について協議し、承認した。

　以上の報告があった。

1. 会費納入状況（井上）

2017年4月1日～2017年9月23日

会費納入必要会員数194名（2017年9月20日現在）

（※名誉会員9名を除く、中途退会6名を含む数）

＜未納状況＞

　　2014年度～未納者　　　２名

　　2015年度～未納者　　　３名

　　2016年度～未納者　　　５名

2017年度 未納者　　 45名・・（2017年度会費の納付率71.6% 　昨年比12.7%増）

以上の報告があった。

3．入退会者について（山下）

　(1)入会希望者19名

(2)退会者６名

　 (3)会員数 2017年9月23日現在209名（暫定会員含む）

※入退会承認後（2017年10月21日現在）203名（昨年度比13名増）

　　　　　　 　→ 会費納入必要会員数194名（名誉会員９名）

以上の報告があった。

4．部会誌『家族関係学』のJ-STAGE登載の決定について（山根）

J-STAGE（国立研究開発法人 科学技術振興機構：総合電子ジャーナルプラットフォーム）への利用申込み申請、5月29日採択決定。2018年度以降の登載（予定）に向けて、準備進行中。

以上の報告があった。

5. 部会誌の編集について　（山根）

　　『家族関係学』No.36を12月1日発行予定で編集作業中

　　　構成：Ⅰ．特集 公開シンポジウム

Ⅱ．論文（2本）

Ⅲ．寄稿（2本）

Ⅳ．書評・文献紹介（書評3・文献紹介5）

以上の報告があった。

6.部会誌の配布・販売・在庫の状況、HP、メルマガについて（佐藤）

1. 部会誌の配布状況：「家族関係学」35号

　　　　　 国内会員　　　　　163冊

海外在住会員　　　　2冊

執筆者謹呈分　　　 44冊（22人×2冊）

書評・文献紹介の出版社謹呈分　７冊

定期購読団体　 　　15冊

国会図書館献本　　　2冊　　　　　　　　　　　　合計　233冊

1. 定期購読団体（2017年10月現在）　16団体
2. 部会誌バックナンバーの販売状況（2016年11月～2017年6月）

　 合計10冊：30号（１冊）、31号（2冊）、32号（1冊）、33号（２冊）、

34号（１冊）、35号（3冊）

1. 部会誌バックナンバー・報告書の在庫状況について（2017年10月6日現在）

　　30号（19冊）、31号（８冊）、32号（９冊）、33号（８冊）、34号（19冊）、35号（25冊）

・ひとり親家庭等に関する都道府県および政令指定都市調査・支援政策資料集　３冊

・子どものｳｪﾙﾋﾞｰｲﾝｸﾞと家族・地域社会　１冊

1. ホームページの更新（2016年11月～2017年9月）

・家族関係学部会HP：更新10回

11/19、12/17、2/10、4/1、4/4、5/18、6/2、7/5、8/24、9/22

・日本家政学会HP（家族関係学部会紹介）：更新１回（2/4）

1. メルマガ

第１号（2/22発行、147通配信）、第2号（4/5発行、156通配信）、

第3号（5/12発行、160通配信）、第４号（8/23発行、170通配信）

以上の報告があった。

7. 業務委託の状況について（佐藤）

　　・業務委託先：よしみ工産株式会社

　　・委託業務内容：

　　　　ホームページ関連　サーバー管理・更新（税込2,376円／月）

　　　　　　　　　　　　　記事・項目の追加と修正、リンク作業

　　　　メルマガ関連　　　メルマガ配信（税込5.4円／１通）

　　　　部会誌関連　　　　印刷、封入・封緘・発送作業

　　　　　　　　　　　　　バックナンバー保管・管理（税込2,160円／月）

　　　　　　　　　　　　　バックナンバー購入希望者への郵送

　　　　セミナー関連　　　プログラム・案内状の印刷、封入・封緘・発送作業

　　　　　　　　　　　　　シンポジウム・自由報告要旨集の印刷

以上の報告があった。

8. 2016年度家族関係学セミナーについて （渡邊）

1. 日程　2016年10月8日（土）～10月9日（日） 会場：尚絅学院大学

(2)シンポジウム　テーマ「震災と女性」

　　　　　　　　　 報告者　渡邊千恵子 氏（尚絅学院大学）

宗片恵美子 氏（特定非営利活動法人イコールネット仙台 ）

成田洋美 氏（公益財団法人せんだい男女共同参画財団 ）

　 (3)助成

・平成28年度日本家政学会第2期活動助成金　95,811円

　 使途：講師謝礼（宗片氏、成田氏）及び要旨集印刷費

(4)自由報告　2分科会計12報告

(5)参加者　　74名（家政学会員42名、非学会員32名）

以上の報告があった。

9. 2017年度家族関係学セミナーについて （杉井）

　(1) 日程：2017年10月21日（土） ～ 10月22日（日）

会場：ホテルビナリオ嵯峨嵐山（社会福祉法人全国手話研修センター「コミュニティ嵯峨野」)

(2) 公開シンポジウム

「家族／家庭のリアリティーを多角的に考える―生活者としての女・男・子どもの生きざまを問い直す―」

　　　報告1　 沢山　美果子氏（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

「『いのち』とジェンダーの視点からみた女・男・子ども―近世から近代へ」

報告2　 天木　志保美氏（元・同志社大学文学部）

「後期近代と家族」

報告3　 宮坂　靖子氏（金城学院大学生活環境学部）

「家族の近代化・脱近代化と子育て―ケアネットワークと情緒規範からのアプローチ」

1. 活動助成

　平成29年度日本家政学会第2期活動助成金　　97,959円

使途：シンポジウム講師謝礼（非会員2名および学会員1名）及び会場費

　　(4)自由報告　２分科会　合計13報告（プログラム記載14報告であるが、１報告取り下げ）

以上の報告があった。

10. 2017年度日韓学術交流について（上野）

2年ごとの交流で、2017年度は、本部会が韓国家族関係学会の研究大会に派遣する年度である。岡山大学の李璟媛氏を以下の内容で派遣することになった。

（1）韓国家族関係学会の研究大会が開催される場所と日にち

　　日時：2017年10月27日（金）

　　場所：サンミョン大学校（Sangmyung University）

（2）李璟媛氏の発表のタイトル

　　研究大会主題：親密な関係づくりの地形変化(The Changing Landscape of Partnering)

　　李璟媛氏の発表タイトル：日本社会における親密な関係の地形変化―結婚と離婚を中心に

以上の報告があった。

11. 「家庭生活アドバイザー」資格化に向けた動きについて（細江）

2015年8月25日：4部会合同シンポジウム「「家族生活教育」を支える部会の連携と協働」

2016年3月25日：（一社）日本家政学会第1回家族生活アドバイザー資格認定準備委員会

2016年4月16日：家政学会理事会において準備委員会が作成した同趣旨と概要案を検討

2016年5月29日：家政学会において4部会合同シンポジウム「家政学の社会貢献のための共通理解と資格化を問う」を開催

2017年2月27日：第2回　家族・家庭生活アドバイザー（仮称）資格検討委員会を開催

　　　　　　　資格の名称を「家庭生活アドバイザー」に決定

2017年5月28日：家政学会で資格に関するシンポジウムを開催

2017年8月18,19日：学会認定資格「家庭生活アドバイザー」パイロット事業 講習会を開催

以上の報告があった。

12．第3回家政学夏季セミナーの開催について（佐藤）

　　日時：平成30年9月6日（木）、7日（金）

場所：東京家政大学 　〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1

主催：（一社）日本家政学会

実行委員長：河田哲典先生（岡山大学）

協力部会：家政教育部会、家族関係学部会、食文化研究部会、児童学部会、食品組織部会

基本テーマ：生活の質的向上を目指す家政学の世界

公開シンポジウム主題：子どもの貧困と子ども食堂（9月6日開催）

以上の報告があった。

13.『家族を読み解く12章』（仮称）出版について（佐藤）

編集：（一社）日本家政学会

発行：丸善出版株式会社

発行予定：2018年10月

編集代表：久保桂子先生

編集幹事：宮坂靖子先生、山根真理先生、佐藤宏子

編集委員：李璟媛先生、井田瑞江先生、大石美佳先生、安達正嗣先生、杉井潤子先生、

中谷奈津子先生、マルセロ・デ・アウカンタラ先生、山下美紀先生

　　　執筆予定者：78人（非部会員９人を含む）

読者対象：家族に関わる研究者、家政学に関わる研究者、中・高の家庭科教員、家族を学ぶ

学生（教科書）、行政の施策立案者や生活支援職に従事する人、一般市民

部会の買取り：部会として買取り、部会員に配布する。

非会員執筆者９人への贈呈分９冊、部会の保管分２冊を買取る。

買取り経費および郵送料は、部会の定額貯金から支出する。

以上の報告があった。

14. その他

とくになし

**【協議事項】**

1. 入退会者の承認（山下）

報告事項3の入退会者（審議対象者）について承認された。

2．ニューズレターの紙媒体での発行・郵送から電子メールによる一斉配信・HP公開への変更について（佐藤）

　・2017年度第2号（2018年２月発行）より、電子メールによる一斉配信に変更する。

　・ニューズレターを部会ホームページ上で公開する（2017年度第１号より公開済み）。

・現役員会の任期期間は、名誉会員（９名）およびメールアドレス未登録者のうち郵送を希望する者に対して、電子メールによる一斉配信後に電子版を印刷し郵送する。

　　メールアドレス登録状況（2017年9月23日現在）：

配信可能なメールアドレスの登録者 182名

　　　　　メールアドレス・住所の不明者　 2名

メールアドレス未登録者（名誉会員を除く）　18名

ニューズレターの印刷・郵送の希望者　　 0名（8月29日付、郵送確認済み）

　　経費の比較

　　　　ニューズレター郵送（郵送料、宛名シール、アルバイト代）　26,000円（2017年1号）

　　　　ニューズレターの電子メール一斉配信費用　　　　　　　　　＠5.4円×182人＝983円

　　　　ニューズレターのHP公開費用　　　　　　　　　　　　　　 540円

上記、変更案が承認された。

3．家族関係学セミナーの参加者資格および自由報告における共同発表者の会員資格について（佐藤）

セミナー参加者資格は部会員に限定しないこと、自由報告の発表者は第一発表者は部会員に限るが、連名者は非会員も可とすること、発表費（非会員）は3,000円とすることが承認された。

4. 2018年度第38回家族関係学セミナーについて（大石）

日程：2018年10月13日（土）～10月14日（日） 会場：鎌倉女子大学大船キャンパス（鎌倉市）

　上記の日程と会場で開催することで了承された。

5．平成30年度事業計画案について （佐藤）　【資料１】

　資料１のとおり承認された。選挙管理委員会について関東での委員会開催が承認された。

6．平成30年度収支予算案について （井上）　【資料２】

資料２のとおり承認された。

7. その他

　とくになし

【資料１】**平成30年度事業計画（案）**

1. 研究発表会、公開講演会等の開催

(1) 公開シンポジウム

日程：平成30年10月13日(土)　　会場：鎌倉女子大学大船キャンパス（鎌倉市）

テーマ：未定　　　　　　　シンポジスト：未定

(2) 研究発表会

日程：平成30年10月14日(日)　　会場：鎌倉女子大学大船キャンパス（鎌倉市）

２． 部会誌の刊行

「家族関係学」№37 平成30年12月1日刊行予定

1. 部会誌のJ-STAGE登載、バックナンバー（部会誌No.28-37）の電子ジャーナル化

４．『家族を読み解く12章』（仮称）の出版　　平成30年10月発刊予定

５． 研究及び調査の実施

　　 　実施せず

６．研究の奨励及び研究業績の表彰

実施せず

７． 内外の関連部会との連携及び協力

(1) 「家庭生活アドバイザー」資格化の取り組み

(2) 第3回家政学夏季セミナーの開催　　平成30年9月6日（木）、7日（金）

８．その他、目的を達成するために必要な事業

(1) ニューズレターの発行　2回

(2) ホームページの管理・更新、メルマガの配信

９．部会総会等の開催

(1) 平成30年度通常総会

平成30年度家族関係学セミナーのなかで開催する。

(2) 部会役員会、各種委員会等

　 ・ 役員会の開催（年２回）

・ 第38回家族関係学セミナー実行委員会（４回）

　 ・ 部会誌編集委員会10回（メール会議）

* 選挙管理委員会（3回）

　　　　・その他

１０．その他

【資料２】

